

外 国 語 学 部

荒川 みどり

論文

1. 荒川みどり：(翻訳) ロンドン大学東洋学部設置のための委員会報告書に収録された日本語学校経営者W. J. S. Shandへの審問～20世紀初頭の英国内における日本語教育を知る手がかりとして～. 杏林大学外国語学部紀要. 34. 69-88. 2022年3月.

岩本 和良

講演

1. 岩本和良：大学で学ぶ・英語を学ぶ. 正則高等学校進路指導セミナー. 東京. 2021年11月26日.

著書

1. 岩本和良・田中洋：Listen for It: Ear Training through Dictation. いいずな書店. 2021年.

その他(学会等および社会における主な活動)

1. (運営) 第29回日本機能言語学会秋期大会. オンライン. 2021年10月24日.

宇佐美 貴浩

その他(学会等および社会における主な活動)

1. (企画) 写真供養感謝祭. 神奈川県鎌倉市浄智寺. 2021年11月13日.

齋藤 智志

講演

1. 齋藤智志：学知と自由—ショーペンハウアー「大学哲学について」を読む(シンポジウム「学問の危機—知の自由、知への愛、知の復権」提題). 日本ショーペンハウアー協会第34回全国大会. オンライン. 2021年12月18日.

著書

1. 齋藤智志：ショーペンハウアー哲学の限界点としての無—意志否定論に対する批判の検討. モナドから現存在へ—酒井潔教授退職記念献呈論集. 陶久明日香・長綱啓典・渡辺和典編. 工作舎. 2022年. 180-195.

その他(団体役員)

1. (理事・協会誌編集委員) 日本ショーペンハウアー協会
2. (理事・協会誌編集委員) 日本ディルタイ協会
3. (協会誌編集委員) 実存思想協会
4. (委員) 三鷹市生涯学習審議会
5. (委員) 三鷹市社会教育委員

坂本 ロビン

講演

1. 坂本ロビン：異文化コミュニケーションで何？. 多摩大学聖ヶ丘高等学校. 東京. 2021年10月22日.
2. 坂本ロビン：Can Japan reach the 2030 goal of having 30% of women in a management role?. 順天中学高等学校. 東京. 2021年11月16日.
3. 坂本ロビン：The Joy of Learning English--The Way to Learn English for Science Students. 国立大学法人東京農工大学グローバル教育院. 東京. 2022年3月4日.
4. 坂本ロビン：女性のリーダーシップ. 牟礼コミュニティセンター. 東京. 2022年3月16日.

著書

1. 坂本ロビン：GENIUS English Logic and Expression: 大修館書店. 2022年.

その他(表彰)

1. 三鷹市の国際化推進に寄与したことによる表彰. 三鷹市制70周年の記念式典. 2021年11月3日.

その他(団体役員)

1. (委員) 東京外国語大学経営協議会/学長選考会議
2. (副理事長) 三鷹国際交流協会
3. (座長) みたか国際化円卓会議
4. (委員) 三鷹市スポーツ推進課・東京2020三鷹地域連携会議委員

高木 眞佐子

講演

1. 高木眞佐子：写真で見るイギリス・オックスフォード～大学の歴史と現在. 杏林大学公開講演会・三鷹ネットワーク大学(共催). オンライン. 2021年12月11日.

論文

1. Takagi, Masako : John Hardyng and his Documents: Possible Link to Antony Bek. Kyorin University Journal. 39. 89-99. 2022年3月

著書

1. 高木眞佐子：『ジョン・ハーディングの年代記』の諸相. 書物に描き出された時/時の中の書 2020年度極東証券寄附講座「文献学の世界」. 安形麻里編. 慶應義塾大学文学部. 2021年. 43-57.

張 弘(宮首 弘子)

講演

1. 張弘(宮首弘子)：日本の医療通訳の現状と養成. 中国広東外語外貿大学特別講座. オンライン. 2021年7月8日.
2. 張弘(宮首弘子)：通訳基礎トレーニング法(「感染症(結核・HIV)通訳養成講座Ⅱ」). 北島研究班と特定非営利活動法人チャーム. オンライン. 2021年9月4日.
3. 張弘(宮首弘子)：感染症医療通訳ロールプレイの演習(「感染症(結核・HIV)通訳養成講座Ⅲ」). 北島研究班と特定非営利活動法人チャーム. オンライン. 2021年10月30日.
4. 張弘(宮首弘子)：医療通訳資格更新研修講義. 一般財団法人日本医療教育財団. オンライン. 2021年12月18日.
5. 張弘(宮首弘子)：日本における医療通訳の現状と人材育成(シンポジウム「第三回中国医薬国際化と言語サービスフォーラム」). 中国広東外語外貿大学. オンライン. 2021年12月31日.
6. 張弘(宮首弘子)：通訳技術の基本(「在住外国人支援スタッフ・ボランティア通訳のための感染症(結核・HIV)通訳養成オンライン講座第1部」). 北島研究班と多言語社会リソースかながわ. オンライン. 2022年2月5日.
7. 張弘(宮首弘子)：通訳実技ロールプレイ演習(「在住外国人支援スタッフ・ボランティア通訳のための感染症(結核・HIV)通訳養成オンライン講座第2部」). 北島研究班と多言語社会リソースかながわ. オンライン. 2022年2月13日.

論文

1. 張弘(宮首弘子)：音声翻訳機の医療通訳における有用性Ⅱ. 杏林大学外国語学部紀要. 34. 111-142. 2022年3月.

特許等知的財産関係、報告書等

1. 張弘(宮首弘子)他：リモートによる感染症医療通訳基礎トレーニングとロールプレイ演習の取り組みⅡ. 厚生労働省科学研究費補助金エイズ対策政策研究事業「HIV検査と医療へのアクセス向上に資する多言語対応モデルの構築に関する研究」令和3年度(2021)総括・分担研究報告書：19-28. 2022年3月.
2. 張弘(宮首弘子)他：感染症医療通訳基礎トレーニングとロールプレイ演習の取り組みについての総括. 厚生労働省科学研究費補助金エイズ対策政策研究事業「HIV検査と医療へのアクセス向上に資する多言語対応モデルの構築に関する研

究」令和元年度～令和3年度(2021)総合研究報告書:38-54. 2022年3月.

3. 張弘(宮首弘子)他:医療通訳分野での音声翻訳機の有用性に関する研究.厚生労働省科学研究費補助金エイズ対策政策研究事業「HIV検査と医療へのアクセス向上に資する多言語対応モデルの構築に関する研究」令和元年度～令和3年度(2021)総合研究報告書:38-54. 2022年3月.

その他(学会等および社会における主な活動)

1. (ブログ)大学生が考える医療通訳とは.日本全国医療通訳者協会HP. 2021年7月.
2. (報告)外国人HIV検査会.厚生労働省科学研究費補助金エイズ対策政策研究事業「HIV検査と医療へのアクセス向上に資する多言語対応モデルの構築に関する研究」研究班主催.東京. 2021年11月14日.
3. (登壇)『人民文学』を読む会45周年記念例会～中国作家との交流会.『人民文学』を読む会主催.オンライン. 2022年1月22日.
4. (報告)外国人HIV検査会.厚生労働省科学研究費補助金エイズ対策政策研究事業「HIV検査と医療へのアクセス向上に資する多言語対応モデルの構築に関する研究」研究班主催.東京. 2022年2月11日.

長谷川 弘子

論文

1. 長谷川弘子:『ヴィルヘルム・マイスターの遍歴時代』所収「マカーリエの文庫から」1829年:ヒポクラテス,プロテイノス.杏林大学外国語学部紀要. 34. 15-44. 2022年3月.

古本 泰之

講演

1. 古本泰之:(パネリスト)シンポジウム「日本国際観光学会らしい観光学—ミライの観光研究—」.日本国際観光学会第25回全国大会.オンライン. 2021年10月23日.

論文

1. 古本泰之:地域固有の資源を守り・活かす「エコツーリズム」.温泉. 第90巻1号. 4-6. 2022年2月.

その他(学会等および社会における主な活動)

1. (理事・総務委員長)日本観光ホスピタリティ教育学会
2. (理事)ロングステイ観光学会
3. (会長)羽村市生涯学習審議会
4. (部会長)大学コンソーシアム八王子・産学公連携事業部会
5. (会長)八王子市「伝統文化ふれあい事業」実行委員会
6. (副委員長)三鷹市町会等地域自治組織活性化事業選考委員会
7. (委員)東京2020大会等に向けた三鷹地域連携会議

イアン ランバート

論文

1. “Some kind of Scotch-American”: Heritage Tourism and idealized ‘authenticity’ in James Kelman’s *Dirt Road*. 杏林大学外国語学部紀要. 34. 95-120. 2022年3月.

その他(教育活動上特記すべき事項)

1. (他大学出講) Academic Writing, Literary Reading. 津田塾大学.

河路 由佳

論文

1. 河路由佳:ドナルド・キーンを30歳にして日本文学史家たらしめた条件—なぜ、日本留学前にJapanese

Literature(1953)が書けたのか—ことばと文字. 14. 209-220. 2021年4月.

2. 河路由佳:土岐善麿が日本語文学のローマ字書きに託したもの—土岐善麿(1921)『Roomazigaki Tanpen-Syoosetsusyuu(ローマ字短篇小説集)』—. 外国語学部紀要. 34. 89-110. 2022年3月.

その他(学会等および社会における主な活動)

1. (著書)モハメド・オマル・アブディン(著)河路由佳(聞き手・構成):日本語にとらめっこ—見えないうちの学習奮闘記. 白水社. 2021年4月.
2. (著書)河路由佳歌集(現代短歌文庫161). 砂子屋書房. 2021年10月.
3. (研究ノート)土岐善麿の一九四〇年代(十三)—少し疲れの見た一九四九年—. 新暦5月号. 43. 2021年5月.
4. (研究ノート)土岐善麿の一九五〇年代(一)—窪田空穂に敬意を表した一九五〇年—. 新暦7月号. 43. 2021年7月.
5. (研究ノート)土岐善麿の一九五〇年代(二)—新作能「秀衡」に力を傾けた一九五一年—. 新暦9月号. 43. 2021年9月.
6. (研究ノート)土岐善麿の『ROOMAZIGAKI TANPEN-SHOOSSETUSYUU(ローマ字書き短編小説集)(1921)のこと. Rômazi no Nippon(ローマ字のニッポン). 673号. 17-19. 2021年10月.
7. (研究ノート)土岐善麿の一九五〇年代(三)—仏教の歌「降誕賛歌」の一九五二年—. 新暦11月号. 40. 2021年11月.
8. (研究ノート)土岐善麿の一九五〇年代(四)—亡き父、善静に思いをはせた一九五三年—. 新暦1月号. 38. 2022年1月.
9. (研究ノート)土岐善麿の一九五〇年代(五)—「杜甫を読む会」を始めた一九五四年—. 新暦3月号. 37. 2022年3月.
10. (新聞記事)日米の十字路 ハワイで—上原征生の軌跡—①生い立ち 「日露」勝利にちなんだ名/米兵らに日本文学指導へ. 西日本新聞. 朝刊文化欄10面. 2021年12月7日.
11. (新聞記事)日米の十字路 ハワイで—上原征生の軌跡—②開戦前夜 熊本縁 エンブリーに協力/日米緊張下日本の童謡英訳. 西日本新聞. 朝刊文化欄10面. 2021年12月8日.
12. (新聞記事)日米の十字路 ハワイで—上原征生の軌跡—③充実した時間 高まった日本語熟/ドナルド・キーンとの出会い. 西日本新聞. 朝刊文化欄10面. 2021年12月9日.
13. (新聞記事)日米の十字路 ハワイで—上原征生の軌跡—④戦後 次世代へと広がる日本文学への思い. 西日本新聞. 朝刊文化欄9面. 2021年12月10日.
14. (書評)村田泰子歌集『指月の風』. 短歌8月号. 92. 2021年8月.
15. (書評)『違星北斗歌集—アイヌと云ふ新しくよい概念を』. 短歌11月号. 234. 2021年11月.
16. (書評)『童話の森』の謎のうちそと(真狩浪子『童話の森』). 短歌人. 第84巻3号. 43-44. 2022年3月.

嵐 洋子

論文

1. 嵐洋子:日本語学習者の媒介語としての英語使用に対する意識. Kyorin University Journal. 第39巻. 57-73. 2022年3月.

著書

1. 嵐洋子:音声(1)—母音・子音(第2章)・音声(2)—拍・アクセント・イントネーション(第3章). 超基礎・日本語教育のための日本語学. 太田陽子編. ころしお出版. 2021年. 20-42.

その他(学会等および社会における主な活動)

1. (審査・運営協力員)日本語教育学会

その他(教育内容・方法の工夫)

1. (研究分担者)科学研究補助金(基盤研究(C))「看護・介護現場の接触場面における方言使用実態の調査と方言学習用アプリ教材の開発」(課題番号:20K00729)

北村 一真

講演

1. 北村一真：17～19世紀の名作を英語で読む。朝日カルチャーセンター講座。オンライン。2021年4月8日，5月6日，7月10日。
2. 北村一真：リーディングにおける上級の予測ストラテジー—否定表現を手がかりに。日本英文学会 第93回全国大会。オンライン。2021年5月21日。
3. 北村一真：(ブックトーク) ホームズ英語で英文解釈力をつけよう。丸善・ジュンク堂書店オンラインイベント。オンライン。2021年5月29日。
4. 北村一真：北村一真先生講演会。教育研究会Festina Lente。オンライン。2021年8月21日。
5. 北村一真：新聞、ニュースの英語を読む。杏林大学公開講演会。オンライン。2021年11月18日。

著書

1. 北村一真：英文解体新書2：シャーロック・ホームズから始める英文解釈。研究社。2021年。

その他(学会等および社会における主な活動)

1. (インタビュー)：独学で英語が伸びる人の「条件」。NewsPicks ザ・プロフェット2021年4月。
2. (インタビュー)：「ネット上の英語情報」を攻略せよ。NewsPicks ザ・プロフェット。2021年4月。
3. (記事) ゴールではなく土台としての文法と読解。研究と指導 Argument。2021年第1号。1。2021年5月。
4. (記事) 現代における英文解釈の意義について。英語教育。2021年8月号。38-39。2021年7月。
5. (対談) いま必要な英語力を考える。NPO法人地球ことば村・世界言語博物館「ことばのサロン」。オンライン。2021年8月。
6. (インタビュー) 基本を深めればビジネス英語にも深み。週刊東洋経済。10月16日号。86-87。2021年10月。
7. (記事) 英語ニュースの読み方。English Journal。11月号。28-32。2021年10月。
8. (記事) 英語ニュース・ウェブサイト8選。English Journal。11月号。33-35。2021年10月。
9. (記事) 読解力なくして会話力なし。The Japan News 活用ガイド。1。2021年12月。
10. (記事) 英語の読解で広がる世界。三田評論。1月号。36。2022年1月。
11. (記事) 英語学習のトピバ。IIBC NEWSLETTER。3月号。2022年3月。

千野 万里子

論文

1. 千野万里子：叶聖陶の言語について(5) —書き換え作業と普通話、進行・持続表現を中心に—。杏林大学外国語学部紀要。34。171-193。2022年3月。

西山 桂子

講演

1. 西山桂子：転機を迎えた宿泊産業—Airbnbがグローバルホテルオペレーターに与えた影響—。日本流通学会第35回全国大会。オンライン。2021年10月24日。

八木橋 宏勇

講演

1. 八木橋宏勇：採択を引き寄せるreader-friendlyな計画調査。

令和4年度科研費公募事務説明会・科研費獲得セミナー(井の頭キャンパス)。三鷹。2021年7月21日。

2. 八木橋宏勇：採択を引き寄せるreader-friendlyな計画調査。令和4年度科研費公募事務説明会・科研費獲得セミナー(三鷹キャンパス)。三鷹。2021年7月28日。
3. 八木橋宏勇：ジブリ映画字幕翻訳から学ぶ異文化間コミュニケーション。東京都立翔陽高等学校。2021年10月5日。
4. 八木橋宏勇：認知言語学への招待—通じる世界のことばとこころ—。八王子学園都市大学いちょう塾。八王子。2022年2月5, 12, 19, 26日。

論文

1. 八木橋宏勇：用法基盤モデルに基づく英語ライティング教育—期待される情報と好まれる談話展開の涵養に向けて—。認知言語学の最前線—山梨正明教授古希記念論文集—。児玉一宏・小山哲春編。ひつじ書房。2021年。361-383。
2. 八木橋宏勇：the reason...is because...パターンにみる「地」を強化する「因」の機能。認知言語学の未来に向けて—辻幸夫教授退職記念論文集—。菅井三実・八木橋宏勇編。開拓社。2022年。86-96。

著書

1. 多々良直弘・松井真人・八木橋宏勇：実例で学ぶ英語学入門—異文化コミュニケーションのための日英対照研究。朝倉書店。2022年。

その他(学会等および社会における主な活動)

1. (監修・協力) 日本テレビ「クイズ! あなたは小学5年生より賢いの?」。2021年4月。
2. (企画・運営) タンザニア・ボンデイの言語に対する意識とその変化。NPO法人地球ことば村—世界言語博物館主催・慶應言語教育研究フォーラム共催。オンライン。2021年4月7日。
3. (監修・協力) 日本テレビ「クイズ! あなたは小学5年生より賢いの?」。2021年6月。
4. (企画・運営) 日本文体論学会第117回大会。三鷹・オンライン。2021年6月26日。
5. (記事・報告) 「テンプレート」を活用した英語ライティング教育—知識とスキルの接続をいかに図るか—。津田塾大学言語文化研究所報。第36号。93-94。2021年7月。
6. (運営) 日本認知言語学会第22回全国大会。オンライン。2021年9月4-5日。
7. (企画・運営) 中国広西チワン族のことばと口承文芸について。NPO法人地球ことば村—世界言語博物館主催・慶應言語教育研究フォーラム共催。オンライン。2021年9月25日。
8. (企画・運営) Exploring Japanese Culture through Anime。NPO法人地球ことば村—世界言語博物館主催・ルーマニア国立パベシュ・ボヨイ大学日本文化センター共催。オンライン。2021年11月20日。
9. (企画・運営・司会) ことわざフォーラム2021「子どもとことわざ」。ことわざ学会主催。三鷹・オンライン。2021年12月4日。
10. (運営) 日本語用論学会第24回大会。オンライン。2021年12月18-19日。
11. (企画・運営・司会) オンライン・シンポジウム「マルチメディアリテラシーと言語」。言語と人間 研究会・日本語用論学会メタファー研究会共催。オンライン。2021年12月27-28日。
12. (記事・協力) 世界の言語—7000語 多様性に危機迫る。共同通信社。2022年1月5日配信。
13. (対談) 新春・村長&副村長対談「今年のことば村はこう展開!」。NPO法人地球ことば村—世界言語博物館主催・慶應言語教育研究フォーラム共催。オンライン。2022年1月22日。
14. (記事) 言語学者が担当する「臨床医学入門」。杏林大学図書館ニュース。第8号。2022年1月25日配信。

その他(教育内容・方法の工夫)

1. (研究代表者) 科学研究補助金(基盤研究(C))「これからの英語教育で期待される論理的思考力の探求とその教育手法・効果測定法の開発」(課題番号: 20K00841)
2. (研究分担者) 科学研究補助金(基盤研究(C))「言語獲得理論に基づく小学校英語教育の高度化学習プログラムの開発」(課題番号: 19K02758)

その他(団体役員)

1. (理事・事務局代表・学会誌編集委員) 日本認知言語学会
2. (理事・学会誌編集委員長・大会運営委員長) 日本文体論学会
3. (理事・事務局) ことわざ学会
4. (評議員・オンライン大会実行委員長・大会総務副委員長・広報副委員長) 日本語用論学会
5. (事務局長) 「言語と人間」研究会
6. (副理事長) NPO法人地球ことば村世界言語博物館
7. (外部委員) 独立行政法人国際観光振興機構(日本政府観光局)
8. (委員) 学校法人日出学園英語教育プログラム開発委員会
9. (委員) 八王子市男女共同参画施策推進条例制定検討会
10. (委員) 独立行政法人大学入試センター試験問題作成者(令和3年4月28日付の官報(号外第98号)にて公表済み)

その他(教育活動上特記すべき事項)

1. (他大学出講) 英語学Ⅲ・Ⅳ(認知言語学). 慶應義塾大学文学部.
2. (他大学出講) 英語第Ⅰ. 慶應義塾大学法学部.
3. (他大学出講) 英語(ライティング)10. 慶應義塾大学通信教育部.
4. (他大学出講) 言語学講義(言語と社会). 成蹊大学文学部.

安江 枝里子

著書

1. 安江枝里子: 訪日観光客とテーマ化する温泉旅館. 現代観光地理学への誘い. 観光地を読み解く視座と実践. 神田孝治・森本泉・山本理佳編著. ナカニシヤ出版. 2021. 162-163.

その他(団体役員)

1. (学会誌編集委員) 日本観光ホスピタリティ教育学会

小林 輝美

論文

1. 小林輝美: ビデオ会議時の視聴者の映像の有無による英語スピーチの自己評価と生じる感情の比較. 教育テスト研究センター年報. 6. 73-75. 2021年7月.

田中 洋

講演

1. 田中洋: 世界市民のプリズム、あるいは聖人像の解体へー日本におけるヘッセ研究、これまでとこれからー. アカデミア(2021年度第1回, 杏林大学外国語学部). 三鷹. 2021年6月16日.
2. 田中洋: ドイツとサステナビリティライフスタイル・文化・ことば. 順天高校Global Week 2021. 東京. 2021年11月16日.
3. 田中洋: ドイツとサステナビリティライフスタイル・文化・ことば. クラーク記念国際高等学校出張講義. オンライン. 2022年2月21日.

著書

1. 岩本和良・田中洋(共著): Listen for It: Ear Training through Dictation. いいずな書店. 2021年.

その他(学会等および社会における主な活動)

1. (記事) 神話なき都市の神話——クリスティアン・ペッツォルト『水を抱く女』——. Die Brücke架け橋. 717: 10. 2021年4月.
2. (記事) ユング没後60年 ユング研究所、キュスナハト、チューリッヒ. Die Brücke架け橋. 718: 3. 2021年6月.
3. 100年前の東欧へ、ヨーゼフ・ロートとともに 『ウクライナ・ロシア紀行』. Die Brücke架け橋. 719: 13. 2021年8月.

三牧 史奈

講演

1. 三牧史奈: 失われた自我を求めて～冷戦期アメリカ小説にみる自我の分裂と統合を巡る葛藤～. アカデミア(2021年度第2回, 杏林大学外国語学部). 三鷹. 2021年11月17日.

渡邊 俊

その他(学会等および社会における主な活動)

1. (コメンテーター): 井出達郎「ケアのはじまりとしての傷つきやすさから読む『アルコール依存症の患者』と『家族は風のなか』」. 日本E. スコット・フィッツジェラルド協会. オンライン. 2021年7月3日.